

外観



30余年の歴史を誇る特別養護老人ホーム「天寿荘」は、2015年9月に移設。3階建鉄骨造りの建物に1階は居室・事務所・地域交流スペース、2・3階は居室という構成になっている。

2Fフロア案内図



約10床1ユニットで1フロアに4ユニットが配置されている。全館の収容能力は個室77床・短期入所用20床の合計97床を有する。

居室



居室は全室個室となっており、水洗トイレ（可動式ベッドサイド水洗トイレも使用可能）・エアコン・洗面台が完備されている。大きな窓からの採光が心地よく取れるように配慮されている。

内観



地域住民との交流を大切に、開放的なエントランスや地域交流ラウンジを設けた。共同スペースは、什器等でフロアごとのイメージに変化をつける演出が施されている。

2F・3F リビング



各ユニットごとに食事や憩いの場となるリビングを設置し、キッチン、車いすでもアプローチできる洗面カウンターを完備した。

居室水まわり



居室の洗面やトイレは、車いすでのアプローチに配慮した車いす対応仕様。便器は、異物が詰まっても簡単に取り除くことができる掃除口付きパブリックコンパクト便器が採用されている。

居室水まわり



全居室に可動式のベッドサイド水洗トイレを後付けできるよう、接続口を完備。点検口は目立たないように洗面台の足元スペースを工夫した。

1F 多機能トイレ



多機能トイレには、さまざまな身体状況の方」に配慮し、コンパクト多機能トイレバックを採用。オストメイト対応トイレバックも備えている。

共用トイレ



共用トイレは、余裕あるスペースに、大便器には異物が詰まっても簡単に取り除くことができる掃除口付きパブリックコンパクト便器が採用されている。

1F 女性トイレ



大便器ブースは、多様な身体状況への対応に配慮して、各ブースの手すりを左右の勝手違いで設置。洗面は、デザイン性・清掃性に優れたボウルとカウンター一体タイプを採用している。

建築概要

名称	特別養護老人ホーム 天寿荘
所在地	佐賀県多久市北多久町大字小侍132-6
施主	社会福祉法人 天寿会
設計	株式会社メイ建築 研究所
施工	中野・岸本建設共同企業体
竣工年月	2015年08月

水まわりの特長

<移転の経緯>

「天寿荘」は、1978年佐賀県多久市にオープンした特別養護老人ホーム。30年以上にわたり、数多くの高齢者福祉事業に取り組む社会福祉法人天寿会が運営する。2015年9月スーパーや駅などが近く、利便性の高い市街地へ移転。利用者の尊厳を守り、個別ケアの充実につなげるため、全室個室ユニット型へ生まれ変わった。移転に伴い、施設の一部に介護予防教室などが開催される地域交流スペースを設け、施設ケアだけでなく地域の福祉ニーズへ対応している。

<トイレの特長>

居室は全室個室となっており、水洗トイレ・エアコン・洗面台を完備。さらに、入居者の排泄の自立やスタッフの汚物処理の負担軽減、においの除去に有効な点を評価し、可動式トイレであるベッドサイド水洗トイレを設置できるよう、全室に接続口を完備した。また、以前のトイレは大便器にパッドなどが詰まり、何度も業者に除去工事を依頼した経験から、新しい施設のトイレには、異物が詰まっても簡単に取り除ける掃除口付きパブリックコンパクト便器を採用。大便器の前出寸法がコンパクトなので、介助者にとっても介助スペースを広く確保することが可能となった。